



PRIX DE LA MEILLEURE CONTRIBUTION ARTISTIQUE CANNES '83

Emiliano Piedra Presenta

un film  
de



CARLOS SAURA **CARMEN**



con ANTONIO GADES. LAURA DEL SOL. PACO DE LUCIA  
inspirada en la novela de Merimée y opera de Bizet



'83カンヌ映画祭最優秀芸術貢献賞受賞

# カルメン

アントニオ・ガデス ● ラウラ・デル・ソル ● パコ・デ・ルシア ● 製作 エリアー・ノビエドラ ● 監督 カロス・サウラ ● 撮影 テオ・エスカミージャ  
音楽 パコ・デ・ルシア ショーン・サザーランドとマリオ・デル・モナコによるオペラ・カルメンより ● 振付・脚本 カロス・サウラ アントニオ・ガデス  
(カラー作品) ● 東映ユニバースフィルム配給 TUF

官能の舞い、情熱の叫び——人間が楽器だ。

# CARMEN

スベインはアンダルシア地方の美しくも情熱的な娘、カルメン。彼女の灼熱の恋物語は「愛と嫉妬」の古典として全世界に広く知れ渡っている。小説の原作はメリメ。それに素材を得て、オペラ化したのが作曲家のビゼーである。「ハバネラ」や甘美な「メヌエット」、勇壮な「闘牛士のうた」などなど、耳になじみの多い曲もたくさんあって、日本でも、最もポピュラーなオペラの一つといえるだろう。

カルロス・サウラ監督の「カルメン」は、その「カルメン」をフラメンコ・ダンスでミュージカルにしようとした「舞踊団」の人々のおはなしである。リハ・サルをつづけるうちにカルメン役のダンサーと、演出家でドン・ホセ役のダンサーが本気の恋をしてしまい、「カルメン」をつくり、悲劇的な結末を迎えてしまう。ストーリーは極めて単純ながら、しかし、その描き方はスペイン映画の野心的監督、サウラの面目躍如というところだ。

まず、これまで平均的なフラメンコのイメージだとえばマドリッドやバルセロナでのレストラン・シアターでのシウウ、あるいはセビリアやアンダルシアでの街の広場の昼下がりの踊りの輪——などなどのおなじみの観光的フラメンコのイメージが完全に消える。代って登場するのはアロードウエイもかくやと思われ目やダイナミックで、フレッシュな群舞のフラメンコ・ダンスである。目を眩るばかりの原色の鮮やかなタイツ、タイツ、が「ウエスタサイド物語」のジェット団とシヤーク団の衝突のようにすさまじくエネルギーッシュな群舞を見せて、観客を魅了する。フラメンコのニュー・ウエイアの真骨頂を見せる。

「カルメン」はいわば愛とジェラシーとの、ラブ・ストーリーにおける永遠の古典である。この古典的なストーリーに、すばらしく現代的にデザインされたフラメンコダンスを演出、振付したのは、スペイン映画の鬼才といわれるカルロス・サウラと、モリス・ベジャールと並び立つヨーロッパ舞踊界の天才、アントニオ・



製作 エミリアーノ・ビエドラ  
監督 カルロス・サウラ  
原作 フロスベル・メリメ「カルメン」と  
ジョルジュ・ビゼー オペラ「カルメン」より  
脚色・振付 カルロス・サウラ、アントニオ・ガデス  
撮影 テオ・エスカミリーヤ  
音楽 パコ・デル・ソル  
及び ジョーン・サザーランド  
と マリオ・デル・モナコによる  
オペラ「カルメン」

アントニオ・ガデス  
ラウラ・デル・ルシア  
パコ・デル・ソル  
「カラ」作品  
スペイン映画  
上映時間/101分  
上巻フィルム  
TUF  
配給/東映ユニバースフィルム

## 物語

マドリッドのある舞踊団の事務所、リデーのアントニオ(アントニオ・ガデス)と相棒のパコ(パコ・デル・ソル)は、「カルメン」のミュージカル化について打ち合わせをしていた。頭痛のタネは主演のカルメン女優がみつからないことである。オーデイションにつくオーデイションをしても「コレット」というのがない。2人は思い余って、街のスタジオの練習生のレッスンを見にいき、そこに、磨けば光る玉をついに発見した。その娘カルメン(ラウラ・デル・ソル)。白い肌と漆黒の髪はまさしくカルメンそのものだった。

やがてレッスンは、最高潮に達する頃、アントニオは、どうしようもなくカルメンの魅力の虜になっていく。現実での想いを彼は舞台の上で役の中に燃やさせていた。こうなれば、舞台の上こそが彼にとっては現実となつたのである。しかし彼女には性悪な夫がいて、やがて刑務所から出所してくる。その時カルメンのほうはもう冷めていた。

なじるアントニオ、冷たく突き放すカルメン。カッとナイフをカルメンの横腹に突き立てるアントニオ。ガクッと崩れおちたカルメンをうつろに見下しながら、アントニオは、「舞台が余りにも早く終わったことを知っている。

ガデスの2人である。ガデスはとくにサウラの意をうけて野心的なフラメンコを振付けた。しかも彼自ら、劇中の主人公アントニオを主演し、シリアの演技も見せてくれる。さらに、スベインの有名なギタリスト、パコ・デル・ルシアも出演し、期待して、監督のサウラ、舞踊家のガデス、ギター師のデル・ルシアと気鋭の3人が揃った。主役のカルメンには21才の美人ダンサー、ラウラ・デル・ソルが扮し、白磁のよさみ肌を桜色に染めてフラメンコを踊る……。

撮影はテオ・エスカミリーヤ。なお、本筋中バックに流されるオペラ「カルメン」は、マリオ・デル・モナコとジョーン・サザーランドの公演を使用している。

’83カンヌ映画祭最優秀芸術貢献賞受賞

# カルメン

12月23日(金)よりロードショー

新 春 シネマスクエア  
とうきゅう

全席自由定員制・入替制

平日及び元日	12:30	2:40	4:50	7:00	
日祝及び1/2-1/7	10:20	12:30	2:40	4:50	7:00

●金曜・土曜の夜はレイトショー 9:10より  
12/31は4:50の回で終了させていただきます。  
③元日は日曜ですが第1回目の上映は12:30になります。

特別鑑賞券 ¥1200/当日 ¥1500均一の処発売中 (本券の払戻しはいたしません)  
●新宿コマ劇場向いミラノ座横3F ☎(232)9274